

横浜市立 さわの里小学校

令和 7 - 9 年度版 中期学校経営方針

(令和 8 年度修正)

学校教育目標	すすんで学び 笑顔かがやく さわの里～ 思いや願いを伝え合い、つなげる力を育てます ～ ○すすんで課題解決に向けて取り組み、学び続けることができますようにします。(知) ○気持ちのよいあいさつができ、友達や自分を大切にできるようにします。(徳) ○元気に遊び、しっかりと食べ、生活習慣に気を付けて生活できるようにします。(体) ○地域や集団における自分の役割を理解し、すすんで参加、協力できるようにします。(公) ○自分と友達や身の回りの人との違いを尊重し、すすんでコミュニケーションをとることができるようにします。(開)					
学校概要	創立 20 周年	学校長 末松 隆一郎	副校長 下川 真智子	3 学期制	一般学級：12	個別支援学級：4
	児童生徒数：	280 人	主な関係校：	浜中学校 富岡中学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	〇〇中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
＜自分づくりに関する力＞ ＜言語能力＞ ○多様な視点をもとに、自己選択、自己決定しながら深く思考する力 ○自分の考えを適切な言葉で表現する力	浜中学校 杉田小学校 梅林小学校 さわの里小学校	○気持ちよい挨拶をする子ども ○友だちを大切にする子ども ○時間を守る子ども 「基本的な生活習慣の確立」のために ①小中合同の研修会を実施 ②小学校・中学校、双方の見学を実施

中期取組目標	人 もの こと と関わり、豊かな体験からの深い学びを実現します ○いじめ防止、防災・防犯対策を強化し、子供たちを守り抜き、誰もが安心して生活できる学校を目指します。 ○「まち」とのつながりを大切にし、「まち」とともに歩み、「まち」を愛し、地域や社会を創造する子供たちを育てます。 ○学びの過程を子供たちに託し、子供たちが主役となる学びを保障するとともに、学状等データ分析をもとに資質能力ベースに基づいた基礎学力の向上と、データを活かした授業づくりを行い、日々授業改善を図っていきます。
--------	---

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	学状及び日々のテスト・観察等のデータ分析を活かし、①一単位時間で育成を目指す資質能力を明確にした授業づくりをする。この学習で「何(を学ぶか)(が身に付いたか)」を明確にした、子ども主役の学習を目指す。②これまでの研究等で培った学習に対する意識や思いを、確かな基礎学力へと繋げる授業改善を工夫していく。 ③重点研究主題を理論研修や授業研究を通じた授業改善を進める。
担当	重点研推進委員会	
徳	道德教育	①様々な活動を通して、他者とのつながりを大切にし、尊重する態度を養う。互いに認め合うことで自尊感情を高めていけるようにする。②道德科授業実践を保護者に伝える機会をもつ。③道德科の諸価値について学習したことを生かすことができるよう、実生活との関連を図り、実践できるようにする。
担当	道德部	
体	健康教育	①運動における自己のめあてを明確にした授業改善を行ったり、家庭と連携を取ったりして、健康への興味関心を高めるようにする。②ICTの活用など学習内容の工夫や運動に関する委員会と連携を図る。③正しい知識と情報に基づいて、自分で自分の健康を保つことができる子を目指し、健康教育を推進する。③二か月に一週「バランスイナウィーク」を設け食育学習を全学級にて実践し、持続可能な「食育」の取組を計画的に推進していく。
担当	体育部	
公開	自分づくり教育 (キャリア教育)	①教科等横断的な学習を意図的・計画的に行い、「人、こと、もの」とかかわる学びを通して、よりよい人間関係を形成する力を育成する。②地域の資源を活用し、課題解決的なプロセスを通して意思決定する力を育成する。③「自分づくり・パスポート」を活用し、学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、自身の変容や成長を自己認知・自己評価できるようにする。
担当	学校運営カリキュラムマネジメント部	
いじめへの対応		①特別活動、道德教育、人権教育の充実を図り、お互いを思いやる心や生命や人権を大切にする態度を育成して、いじめの起きにくい学級風土づくりを行う。②いじめ防止対策員会を月1回以上開催するとともに、ミニケース会議の質量向上、学年主任会やコーディネーター会を充実させ、組織対応力の強化を図る。
担当	指導部B特別支援	
人材育成・ 組織運営(働き方)		①5年次以下の教職員が児童の考えを生かす授業力、自己肯定感を高める児童指導の力の向上のため、中堅教員講師の下、月1回のメンター研修を行う。②全職員による学校組織運営に参画できる環境を整える。③放課後の時間を「授業改善」「働き方改善」ができるように有的に活用し、時間外勤務時間月及び年間平均40時間以下を目指す。また、「授改タイム」を学校教育力向上の軸とし、持続可能な取組を推進していく。
担当	教務部	
地域学校協働活動		①学校教育活動の充実、運営の改善に資する協議機関として、学校運営協議会を設置し、地域に開かれた信頼される学校づくりの実現を目指した協議を行う。②これまでの地域と連携した教育活動を、系統性と学校教育目標の実現を意識したカリキュラム・マネジメントに資する活動として捉え、継続発展させるとともに、目標やビジョンを地域と学校で共有した協働教育活動を実施する。
担当	教務部	
情報教育		①ICT機器や学校図書館を活用し、目的に応じて情報を選ぶ力を身につけられるようにする。②情報機器の正しい使い方と情報モラルの必要性を理解した上で、適切に表現できるようにする。③ICTの活用においては、体験・体感・対面の学びを補充・深化するために効果的に活用していく。
担当	情報教育	
特別支援教育		① 配慮の必要な児童の情報を共有し、組織的に支援を講じ、必要に応じて外部機関との連携を図る。個別支援計画を中心に引継ぎを行う。②各ブロックにコーディネーター代表を設けるなど、担当コーディネーター、特別支援コーディネーターチームを軸に、本校特別支援教育を推進し、特別支援教室を本校の実態に応じて計画し実践していく。③個別支援学級と交流級の担任が連絡を密にとり計画的に交流学習を行う。
担当	指導部B特別支援	
児童生徒指導		①さわの里小学校リーフレット及び各スタンダードは、教職員・児童・保護者において共有及び共通理解を図るとともに、子供たちが主体的に取り組もうとする意識を高める。また、状況、情勢に応じて柔軟に見直していく。②ユニバーサルデザインの視点を取り入れた環境美化・言語・人権感覚等、学校及び教育環境を整え、全ての子供たちにとって生活しやすい学校づくりを進めていく。
担当	特別支援リスクマネジメント	